

4月9日(水) 本年度第39回(通算2725回)

新入会員卓話

担当/プログラム委員会

12時30分～釧路プリンスホテル

■メークアップ

4月1日 釧路ベイロータリークラブ 坂入 信行君

4月7日 釧路北ローターアクトクラブ 小野寺 英夫君、佐渡 正幸君、多田 洋平君、鈴木 圭介君

■出席報告【会員総数68名 免除7名 出席計算に用いた会員数68名】

出席者 40名 本日の出席率 58%

■ニコニコ献金

- ・福田さん、新免さん楽しみにしています ～小野寺 英夫君
- ・本日もよろしく ～佐渡 正幸君
- ・先週、結婚記念日に花束をいただいておりました。ありがとうございます ～高橋 邦弘君
- ・本日の新入会員卓話よろしくお願ひします ～福田 雅嘉君、坂入 信行君
- ・誕生日です。ありがとうございます ～東海林 均君
- ・中島谷さん、これからこれからの人生おめでとうございます ～丹葉 一恵さん
- ・中島谷さん結婚おめでとう。お幸せに ～小松 亮次君
- ・無事、結婚しました。ありがとう ～中島谷 友一朗君
- ・入会記念、新入会員の皆さん、友一朗君、いっぱいいっぱいおめでとうございます ～富樫 孝之君

■会長挨拶

《小野寺会長》



みなさんこんにちは。本日も例会に参加いただきありがとうございます。

小学校の入学式も終わり新一年生が元気に登下校しております。皆様方の周りでも十分注意はしていると思いますが、あらためて交通安全に努めて戴きたいと思ひます。では会長あいさつをさせていただきます。

本日は新入会員卓話であります。私もクラブに入った15年前は例会に出るのに大変緊張していた記憶があります。私も会社の代表を26歳からしておりましたが、同時に社交ダンスの現役プロ選手としても活動しており、現役選手を引退して1年ほどで45歳で入会した頃は、ほとんど他の経営者の方などの付き合いが無く、クラブに入っても誰も知ってる人がいないという状況でした。

出席するだけで針のむしろに座っているようでしたが、頑張つて出席し続けていたら、今思えば古い先輩会員の方たちも気を使って声をよくかけてくれたように思ひます。そののち先輩会員の方から、ロータリアンに受け継がれている言葉として、「新しい会員や頑張っている会員など、しっかり先輩会員が見ています」と言われその言葉を糧として頑張ってきたように思ひ、あらためて新しい会員の皆さんに「しっかり見えています」という言葉を送りたいと思ひます。そして先輩会員の皆様しっかり見守ってください。よろしくお願ひいたします。

以上会長あいさつとさせていただきます。。

■幹事報告

《佐渡幹事》



- ・ロータリーの友4月号が届いております。各会員のパーソナルボックスに入れておきますので、ご覧ください。
- ・会報が、弟子屈、厚岸ロータリークラブより、プログラムが、弟子屈ロータリークラブより届いております。
- ・The Rotarian 4月号が届いておりますので、回覧いたします。
- ・4月22日19時30分より、釧路北ローターアクトクラブの例会が、プラザさいわいにて開始されますので、都合のつく会員はご出席ください。出席表を回覧いたします。
- ・例会変更のご案内です。5月7日(水)の例会プログラムが「会員卓話」に変更となります。また、5月14日(水)の例会が5月17(土)13時から、まなぼっと大ホールでの開催となります。プログラムにつきましては後日詳細をご説明いたしますが、社会奉仕を考える「講演会」を開催することとなりましたので、ご了解ください。

新入会員卓話



新入会員

私は昭和48年7月17日に生まれました。第2次ベビーブームでしたので、中学は9クラス、高校は10クラスありました。

大学は、歴史学科か商売のための経営学科に進もうと思っていましたが、歴史学科は全部落ちてしまい、経営のほうに進みました。しかし、大学は不真面目で、麻雀ばかりしていました。

学生麻雀選手権で全国準優勝したりと、才能はあったようですが、さすがにプロの道は目指せず、地元の金融機関に就職しました。麻雀には性格がでるもので、攻撃と守備のバランスが取れている人もいれば、攻めに偏る人もいました。私は攻め2守り8くらいでしたが、これは経営にも関わってくるのではないかと、今にして思うところです。

社会人になってすぐ、交通事故にあい、2ヶ月寝たきりの状態になりました。帯広に入院したのですが、毎日JRで付き添いにきてくれた両親にとっても感謝しています。

結局、障害が残ってしまいましたが、そんな私を支えてくれた家族や、皆様に感謝しながら、これからも頑張っていきたいと思います。



福田会員

一月二十九日に入会させて頂きました、株式会社釧路厚生社の福田でございます。本日は弊社の沿革についてお話をさせて頂きたいと思います。人前での話しは、不慣れで御座いますので、聞きづらい点が多々あるかとは思いますが、ご容赦いただければ幸いです。また、中には汚い話もございますけれども、ご理解のほど、どうぞ宜しくお願い致します。

釧路厚生社の前身は今から六十四年前の昭和二十五年五月五日、組合員数十七名で設立した「釧路清掃運搬事業協同組合」であります。その翌年、昭和二十六年六月に戦後初の釧路市長選挙に於いて当選した「佐熊市長」と、正式に「し尿収集委託契約」を締結致しました。

当時、し尿汲取は馬車で行われており、木製のタンクを馬車に積んで、シャクと桶で作業をしていました。

その後昭和三十年に今は懐かしいボンネットのバキューム車を一台購入し、馬車は十二台となりましたが、昭和三十四年にはバキューム車が五台に増えて馬車での収集が幕を閉じました。

昭和三十七年に組合名を「釧路清掃企業組合」に改組しまして、昭和四十年に釧路市役所が幣舞町から黒金町に移転となりまして、組合事務所も市役所庁舎内に移転しました。

釧路厚生社は、昭和四十七年三月二十八日に設立し、四年後に超高压洗浄工事、下水道管内の清掃を手掛けまして、その三年後には一般廃棄物収集、産業廃棄物収集運搬処理を始めました。

また昭和五十三年には事務所を古川町（入江町のさくら湯の向かい）に移転しましたが、のちにその場所が、国道四十四号線の旭バイパス建設用地となり、五十五年四月に代替地として現在の釧路町別保原野に移転しております。

ここで下水道の話ですが、私達が生活する中で毎日欠かせないものが水です。家庭や学校、工場やお店などで使った水が直接、川や海に流れて汚染される事が無い様、汚水を集めて処理をしてから、川や海に流すのが下水道の役目です。皆さんの家庭で水洗トイレが使える、衛生的で快適な生活が出来るようになった事、また大雨が降り浸水する低い場所でも排水が出来るようにするのも下水道の役目であります。

下水道施設は、処理場や中継ポンプ場、管渠（下水管）から成り立っています。管渠はトイレや台所、風呂などの汚水を処理場まで運ぶための汚水管渠と、雨水を川や海まで運ぶための雨水管渠に分類されます。

釧路市は下水道法及び都市計画法に基づいて、昭和三十年から公共下水道事業に着手しまして、市内を6つの処理区に分け、各処理区の下水終末処理場によって大量の汚水を処理しています。また、平成二十五年三月末までの整備水準は下水道普及率が約九十八パーセント、雨水整備率が約六十一パーセント、管渠総延長は約千四百六十九キロメートルとなっております。

下水道の普及に伴いまして弊社に十一台あったバキューム車も今は三台となり、現在の収集箇所は、主に春採・愛国東・大楽毛・鳥取大通などであります。

また下水道処理施設が増える中、昭和六十二年二月に大楽毛下水終末処理場の維持管理を新たに受注する事ができ、その後も更なる受託に向けて資格取得者を増やしまして現在では厚岸町・白糠町・阿寒町・阿寒湖畔の処理場を維持管理しております。

また水道技術管理者の資格を取得し、厚岸町と阿寒町で浄水場の維持管理も行っております。

話は変わりますが、再生資源の利用促進に関する法律いわゆる「リサイクル法」が平成三年に施工され、現在では3Rという呼び方が定着しております。リユース（再利用）とリデュース（ゴミの減量）とリサイクル（再生利用）です。この法律によりまして弊社もリサイクル事業を開始し、空き缶、ビン、ペットボトル、木屑、コンクリート、などの中間処理施設を設け、それぞれリサイクルしております。

この他、平成十三年に食品リサイクル法が施工されまして、その五年後に釧路市新野に於いて、超高温発酵減容処理施設を立ち上げ、食品残渣や水産汚泥、廃飼料、捕鯨されたクジラの骨などをYM菌と言われる土壤菌を使い、発酵させる事業も行っております。発酵温度は、最大百度近くまで上昇します。完全発酵した後に、それを有機肥料として販売しており、商品名を「かんとりースーパーたんちょう」と名付け、地元釧路でも使って頂いておりますが、多くは札幌近郊に販売しております。

次に弊社ではアイスホッケー部を平成四年より保有してありまして、釧路市内大会はもちろん、全道大会にも出場しております。スポーツを通して得ることが出来るチームワークや友情が、仕事にも生かされており、今後も継続して行きたいと考えております。

また、氷上練習につきましては、中島谷さんのリンクを使わせて頂いており、時には日程調整で無理なお願いをして困らせていると報告も入っております。「中島谷さんすみません、いつもありがとうございます。」

続きまして弊社代表取締役会長の中山が、今から四十数年前の二十代の頃に体験した話で御座います。北大通で、し尿の汲取作業をしている時に、小学生の男の子を連れた母親が横を通りまして、自分の息子に対し、「勉強をしっかり頑張らなかつたら、あんな仕事をする事になってしまうよ」と言っていたのが聞こえたそうです。

中山は「誰もがやりたがらないこの仕事に、誇りをもって作業しておりましたので、非常に悔しい思いをした事と、これまでより歯を食いしばって更に仕事に励んだ」と話してくれた事がありまして、私はこの事をこれからも忘れません。次に私事ですが、生まれは釧路ですが、父の仕事の関係によりまして厚岸町尾幌にて小中学校を過ごし、高校は釧路工業高校電気科に入学し、スポーツはソフトテニスをしておりました。

市内大会では七度の優勝をする事ができ、全道大会に於いては最高でベスト8まで進出する事が出来ました。

そして昭和六十三年三月に高校を卒業し、釧路厚生社に入社しました。

入社直後は一般廃棄物の収集、超高压洗浄工事、下水道管清掃、道路路面清掃など、六年間様々な現場で作業しておりました。その後、平成六年に営業部へ配属となり十年間務めましたが、性格が細かいと判断されたのが総務部に異動となり九年間経理を務めました。そして、昨年五月の株主総会に於きまして代表取締役社長を拝命し、現在に至っております。

今年四月には、私の母校である釧路工業高校から二名、釧路武修館高校から二名の新入社員が入社してくれまして社員数は、百四十五名となっております。最後になりますが、平成十八年に取得したISO14001「環境マネジメントシステム」では、環境方針として「ごみ問題・環境問題・省エネルギー化など、地球規模での環境保全に向けた取り組みを、全社員で実行し、環境負荷の低減を目指した循環型社会、構築の推進に寄与し、美しい地球を未来に引き継ぐためにも「環境に優しい企業」を目指します。と掲げておりますので、それに向けて私を含め全社員で、取り組んでいきたいと思っております。

以上、下手なお話で大変申し訳ありませんが、これをもちまして私の卓話とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。